

《第94号》***選書について***

メルマガ1号「図書館の蔵書は、誰がどうやって選んでいるの？〈図書編〉」では、各学部の図書委員会が推薦された図書を審議していることをご紹介します。

今号では、購入図書の候補をどのように選定しているかについて取り上げます。

1. 教職員からの推薦

大学の教育・研究・診療を支える資料の選定には、専門知識が必要不可欠です。日々の診療に役立つ図書、研究で使う図書、新しい発見等で注目すべき内容の専門書、学び方や研究方法、患者との向き合い方といった経験に基づいた推薦を依頼しています。具体的な書名に限らず、テーマ(分野)での提示も可能としています。

購入図書の推薦は、図書館ホームページの蔵書検索(OPAC)「新規購入依頼(教員のみ)」から入力、またはメールでも受け付けています。

※OPAC「新規購入依頼(教員のみ)」のログインには、図書館利用登録と学術 LAN の UID(8桁)、パスワードが必要です。

2. 利用者からのリクエスト

図書館内の投書箱とリクエスト用紙で常時受け付けています。

3. 図書館員による選定

シラバスに掲載される図書や学内の講座・分野を参考にしながら、出版社や学会の新刊案内等から候補をリストアップしています。さらに、書名、目次や内容紹介、形態(極端に薄い、ポケットサイズなど)、参考文献欄の有無といった情報を可能な限り調べ、永く保存する大学図書館の蔵書として適した図書か判断しています。

利用頻度が高い図書や、スタンダードな洋書および訳本は、改版状況を注視しています。

医療分野に限らず、学生に勧めたい教養本や、個人では購入が難しい高額な専門書なども収集の対象としています。マンガ、問題集、雑誌(通常号)、カタログ、コンピューター関係のマニュアルなどは購入対象外です。

図書館トリビア

雑誌は逐次的に刊行される継続性のある資料のため、図書とは異なり毎年のように購読タイトルが入れ替わることはありません。ただし、廃刊や創刊などもあるため見直しをすることも必要で、学内の要望を反映し選定しています。最近では、消費税率引き上げや外国雑誌の価格高騰の影響を大きく受けたことから、2021年購入雑誌について各講座にアンケートを実施し全学的に必要な度が高いものを選定しました。さらに各学部図書委員会によるアンケートにより、2024年内国雑誌購入について見直しを実施しました。

メールマガジンに関するご意見・ご質問は、図書館 tosho@i.wate-med.ac.jp まで。

<編集・発行> 岩手医科大学附属図書館